

自治体・企業・団体との共創

スポーツ団体

● Jリーグ

2014年からJ3リーグのタイトルパートナー、2015年より全カテゴリーのタイトルパートナーとなり、今年でパートナー 10周年を迎えました。当社従業員とお客さまによるスタジアム観戦や、全国のJクラブ等と協働し、小学生向けサッカー教室、ウォーキングイベントを実施しています。また、日本赤十字社協力のもと、各クラブと、献血の啓発活動を行っており、各地域課題に応じた社会貢献活動に取り組んでいます。



© J.LEAGUE

● JLPGA(日本女子プロゴルフ協会)

JLPGA(日本女子プロゴルフ協会)のオフィシャルパートナーとして、「明治安田レディス」「明治安田レディスオープン」への特別協賛に加え、2024年シーズンからJLPGAステップ・アップ・ツアーの賞金ランキング名を「明治安田ステップ・ランキング」に変更しました。また、各地域のゴルフイベントへのJLPGAプロ派遣や各地のツアー会場での健康チェックブースの出展、ツアー大会に子どもたちを招待する「Hello, Golf!」の支援等を通じ、地域に「健康」と「元気」をお届けしています。



(日本女子プロゴルフ協会)

自治体・団体

● 自治体

地方自治体等と健康増進事業の推進や地域経済の活性化支援等を目的とした連携協定を締結しています。協定の締結により、各団体が進める諸施策に、当社が保険事業や社会貢献活動等を通じて培った知見やノウハウを提供し、地域社会の発展に取り組んでいます。

2022年10月からは、自治体と協働し、MYリンクコーディネーター等が、地域のみなさまの健康・介護・子育て等の生活課題を確認し、その解決の一助となる行政サービスをご案内する活動を展開しています。

行政サービス案内

連携協定を結んでいる自治体と、「健康」「介護」「子育て」「防災・防犯」の4つの分野から生活課題の解決に役立つ行政サービスのご案内を行ないます。

健康	定期健診、健康診断、がん検診 等	子育て	子育てサポート情報 等
介護	介護施設・サービス 等	防災・防犯	災害対策、防犯対策情報 等

※地域によっては、行政サービス案内を行っていない場合があります

● 全国健康保険協会(協会けんぽ)

健康増進、健康寿命の延伸を実現するため、相互に連携・協力し、加入事業所への健康宣言の普及・推進を図るとともに、健康宣言事業所における健康経営の実践を支援することを目的とした連携協定を締結しています。具体的な取組みとして、「健康

経営優良法人認定制度^(注1)の取得等、企業の健康経営^(注2)の導入に向けたサポート等を通じ、地域に住む人々の健康増進に寄与しています。

(注1)「健康経営優良法人認定制度」とは、特に優良な健康経営を実践している企業等を見える化することで、社会的な評価を受けることができるよう環境を整備することを目的に、日本健康会議が認定する顕彰制度です

(注2)健康経営[®]は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です

● 日本赤十字社

人々の健康・福祉を支え、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりへの活動、「『地域づくり・未来世代』応援プロジェクト」を共同で展開する包括パートナーシップ協定を2022年4月に締結し、活動を開始しました。若い世代の献血協力者が減少傾向であるという社会課題を受け、献血活動を推進しています。また、2023年度からは、日本赤十字社、Jリーグと連携した献血の普及啓発活動「シャレン!で献血」を新たに開始。Jクラブ・JFL等とのスタジアムでの献血イベントを開催しています。

● 一般社団法人 日本健康麻将協会

認知機能の向上や社会参画を促進する効果・効能があるとされ、厚生労働省が主催する「全国健康福祉祭(愛称:ねんりんピック)」や、文化庁主催の「国民文化祭」の種目に採用されるなど、高齢者福祉・介護予防の観点から注目を集めている健康マージャン^(注3)の展開に関する包括パートナーシップ協定を2024年3月に締結しています。本協定の締結に基づき、連携協定を締結している自治体と協働で、「健康マージャン大会・教室」を2024年4月より全国で開催しています。

(注3)「賭けない・飲まない・吸わない」を合言葉に「健康づくり・仲間づくり・生きがいづくり」を目的とした、健全な頭脳スポーツとしてのマージャン



日本健康麻将協会との包括パートナーシップ協定調印式

企業

● 日清食品株式会社

食を通じた多くの人々の健康づくり及びQOL向上への貢献をめざしています。具体的には、当社の社内食堂への「完全メシ」導入による従業員の食生活改善の促進や、当社が開催する健康イベントを通じた「完全メシ」の普及活動、お客さまのQOL向上に貢献する新たなサービスの開発などに取り組んでいます。



日清食品株式会社
代表取締役社長
安藤 徳隆 様(右)

● 株式会社 キャンサースキャン

これまで800を超える自治体から特定健診の受診勧奨事業等を受託しているキャンサースキャン社が得意とする行動経済学を用いた受診勧奨ノウハウと、当社のMYリンクコーディネーター等による働きかけを組み合わせた仕組みで、自治体住民のがん検診受診率向上を支援する取り組みを展開しています。



● スタートアップ企業への投資

「未来共創投資」について

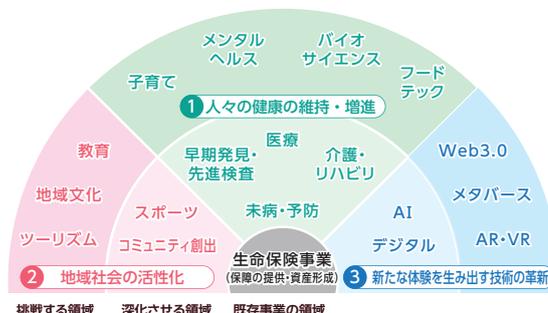
デジタル・ヘルスケア領域等の技術が急速に進展するとともに、お客さまの価値観がより多様化・個別化している状況下において、お客さまに多様な価値を提供するため、先進的なスタート

アップ企業等との協業を視野に入れた100億円の投資枠「未来共創投資」を2022年9月に創設しています。

CVCファンド「明治安田未来共創ファンド」の設立

2023年2月には「未来共創投資」の取組みの一つとして、CVCファンド^(注4)「明治安田未来共創ファンド」を設立いたしました。「明治安田未来共創ファンド」では、3つの領域(①人々の健康の維持・増進、②地域社会の活性化、③新たな体験を生み出す技術の革新)で事業を展開する有力なスタートアップ企業への投資を通じた協業を行なうことで、スタートアップ企業の成長を支援するとともに、当社が提供する商品・サービスのさらなる魅力化や新しいお客さまとの接点の拡大をめざしています。

明治安田未来共創ファンドにおける投資領域



(注4) CVCファンドとは、本業との相乗効果を得ることを目的に、自社の事業内容と関連性のあるスタートアップ企業を中心に投資を行なうファンドです

大学・医療機関等

● 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

2021年に締結した包括連携協定に基づき、当社とグループ会社の明治安田総合研究所は、循環器病の啓発ツールの開発等に取り組んでいます。また、2023年から「心血管病予防・QOL推進研究部」を設置し、これまでの研究成果を土台とし、循環器病の特性を踏まえた新たな価値創出に向け、予防・発見や罹患後のQOL改善等に資するコンテンツの社会実装に向けた研究を加速させています。



● 公益財団法人日本対がん協会

2024年に締結した包括連携協定に基づき、当社およびグループ会社の明治安田総合研究所は、日本対がん協会とがん対策に関する啓発活動や調査等で協働しています。



● 国立大学法人 筑波大学

同大学との共同研究により開発した認知機能チェックアプリ「かんたんブレインチェック」を当社の保険商品である「認知症ケア」「いまから 認知症保険」のご契約者向けに提供しています。なお、同サービスは2023年10月13日に特許を取得いたしました。

特許取得



● 国立大学法人 弘前大学

2018年から弘前大学との共同研究講座「未病科学研究講座」を設置し、「未病予測モデル」の研究(モデル開発は京都大学とも共同で研究)を推進しています。

2024年4月からは同大学との研究で得られた知見を活用し、「みんなの健活プロジェクト」における「明治安田の健康チェック」の一環として、健康啓発型イベント「QOL健診 明治安田×弘前大学」を全国で開催しています。



「QOL健診 明治安田×弘前大学」は、弘前大学が約20年にわたる地域住民を対象とした健康増進プロジェクトと、大学独自の研究をもとに開発した「QOL健診」をベースに、当社と弘前大学との共同研究成果を踏まえ、当社版にアレンジした健康啓発型イベントです。全身の健康状態に関する項目を楽しく、短時間で測定し、その場で結果をおわたしすることが特徴です。

● 学校法人 早稲田大学

2019年に締結した包括連携協定に基づき、人々の健康づくりやお客さま・地域社会とのつながりをテーマに共同研究を実施しています。

2024年1月からは新たに「パーソナリティ特性に基づく最適な健康増進アプローチ」「顧客とのコミュニケーションデータ分析に基づく知識創出」の2つのテーマで共同研究を開始しました。

未来世代応援活動



私たちは、SDGsから導き出される社会課題のうち、「こどもの健全育成」「環境保全・気候変動への対応」を優先課題として設定しました。未来を担う「こども」と、こどもたちが育っていく「環境」のために。より良い価値を未来に引き継ぎ、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりをめざします。

学校教育の充実

スポーツ・文化・地域の交流を通じた健全育成

結婚・子育て・療育支援

地域に根差した環境保全への取組み

金融・保険教育

2020年から、「保険」や「お金」に関する出張授業「金融・保険教育」を各地で開催しています。将来に向けて「自助の備え（保険・貯金の必要性）」について学ぶ機会を提供することで、人生100年時代を豊かなものとするための金融リテラシー向上をめざします。

2023年度開催校数
のべ **1,341** 校



明治安田の未来世代応援プログラム

スポーツを通じて未来世代を応援する、4つの取組みを展開しています。

● with カズ



全国のこどもたちに合計1.1万個のサッカーボールを寄贈

● with Jリーグ



『Jリーグ×小野伸二 スマイルフットボールツアー for a Sustainable Future supported by 明治安田』に協賛し、小学生を招待

● with JLPGA



ツアー大会にこどもたちを招待する『Hello,Golf!』を応援

● with 日本バドミントン協会



中学校大会への協賛や、バドミントン教室を開催 (写真提供：公益財団法人日本バドミントン協会)

若手音楽家への支援

● 公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団

クラシック音楽文化の向上のために、国際的音楽家をめざして研鑽中の若手音楽家を支援する「海外音楽研修生費用助成制度」を運営しています。



伝統文化の後継者育成

● 公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団

地域の伝統文化（民俗芸能および民俗技術）の継承、特に後継者の育成を支援する「地域の伝統文化保存維持費用助成制度」を運営しています。



「地域を見守る」社会貢献活動

MYリンクコーディネーター等が、こどもやご高齢者等の様子に変わったことや気付いたことがあれば、警察署・地方自治体の窓口等に連絡し、不測の事態を未然に防ぐ活動を行っています。



愛と平和のチャリティーコンサート、未来を奏でる教室

音楽に親しむ機会を提供することで、こどもたちの情操教育に役立ちたいという思いから、全国各地で三枝成彰氏によるコンサートと音楽授業を開催しています。



黄色いワッペン

新入学児童を対象に交通安全キャンペーンの一環として「黄色いワッペン」の贈呈事業を実施しています。

※この事業は、株式会社みずほフィナンシャルグループ、損害保険ジャパン株式会社、第一生命保険株式会社と共同で実施しています。



あしながチャリティー&ウォーク、あしなが育英会への寄付

当社従業員が親をなくしたこどもたちの「あしながさん」となって、ウォーキングやチャリティー募金を通じて、こどもたちの進学支援や心のケア支援活動を行っています。



ふれあいコンサート

障がいのあるこどもたちに「生の音楽」を届けることを目的とした、ザ・ワイルドワンズの鳥塚しげき氏による「ふれあいコンサート」を開催しています。



療育支援

● 公益財団法人 明治安田こころの健康財団

こどもの健やかな成長をサポートするため、発達障がいのこどもたちへの療育相談・心理相談や、YouTubeを活用した自治体向けのセミナーを行っています。



明治安田×Jリーグの森～未来をつむぐ森～

人々の暮らしを支え、豊かな恵みをもたらす日本の森林を未来世代につないでいくため、「明治安田×Jリーグの森～未来をつむぐ森～」として、Jリーグとの協働で森林を再生・保全する取組みを行っています。2023年度は神奈川県と山梨県の2カ所で開始し、今後、活動地域を広げていく予定です。



環境教育

豊かな自然環境を守り、次世代に引き継いでいくこと、および持続可能な社会の創り手を育成していくことが大切であるとの認識のもと、こども向けの環境教育に取り組んでいます。



環境教育イベント
「出張!まるのうちサンゴ礁ラボ」
(協力: 株式会社イノカ)



オンライン特別授業
「チョコレートからSDGsを考える」
(協力: 独立行政法人国立科学博物館)



そのほかの未来世代応援活動の取組みは当社ホームページに開示しています
<https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/society/>

